

評価指標と目標値及び各施策との関係性

戦略目標	目標が達成された姿	評価指標	指標の説明	計画策定時		補完指標追加時 〔参考値〕		ステップ 1 完了時 （ R 9 ） の 目 標 値	ステップ 2 完了時 （ R 1 8 ） の 目 標 値	関連性が 高い施策 （◎：特に高い）	備考
包 括 指 標		①【補完指標】 まちの拠点整備に関する満足度	総合計画に関する市民意識調査における分倍河原駅周辺地区の近隣（美好町・分梅町・片町）在住者が回答した、まちの拠点整備に係る満足度（そう思う、ややそう思う）の割合	—	—	R5	54.2%	57%以上	62%以上 （府中駅周辺の令和5年度時点の満足度を目標とする。）	全施策	【追加理由】 各施策全体を補完する指標を追加することにより、総合的にまちづくりへの市民の評価を計測する。
目標 1 安全・安心して歩 いて楽しめる駅周 辺地区・駅前空間 の形成	歩行者の安全・安心が守られている	②歩行者交通環境の満足度	駅周辺の利用者ヒアリング調査（約 400 人）で、「とても歩きやすい」「歩きやすい」と回答した割合（％）。（※市独自調査）	H29	歩きやすい 31%	R5	歩きやすい 62%	歩きやすい 37%	歩きやすい 65%以上	◎1-6 ◎2-3 1-1～5 1-7/2-1	—
		③歩行者交通事故の件数	分倍河原駅周辺地区内における直近 5 年間の歩行者交通事故件数の年平均値（件/年）（※警視庁資料）	H24 ～ H28 平均	2.2 件	H30 ～ R4 平均	1.4 件	0 件	0 件	◎1-7 1-2, 3, 5 /2-3	—
	回遊性が高まり、にぎわいが広がっている	④商店街の歩行者数	歩行者交通量調査（平日 14 時間調査）結果における駅北側の商店街歩行者通行量（人：14 時間）（※市独自調査）	H28	18,004 人 （平日 6:30～20:30）	R5	4.0%の減少 （17,290 人）	1%以上の増加 （約 18,200 人）	3%以上の増加 （約 18,500 人）	◎1-1 1-2～4, 6	【修正理由】 新型コロナウイルス感染症により歩行者数が減少したこと、令和 18 年までの人口推移は減少予定であることから目標値について人口増減分を除いた値に見直す。
							当初目標年度：R4 年 当初目標値：3.5%以上 （18,600 人）	当初目標年度：R9 年 当初目標値：10%以上 （19,800 人）			
目標 2 安全・便利に利用 でき、歩行者と共存し得る自転車利用環境の充実	駅周辺に安全に自転車でアクセスできる	⑤自転車駐車場利用の状況	分倍河原駅周辺の市営自転車駐車場の定期待ち人数（人）及び一日平均利用率（％）（※市資料：定期待ち人数及び自転車駐車場の一日平均利用率）	H29	待ち人数：200 人 利用率 ： 29%（北） ： 114%（北第 2） ： 108%（南） ※利用率は一時＋定期	R5	待ち人数：79 人（南） 利用率 ： 27%（北） ： 107%（北第 2） ： 95%（南）	待ち人数：0 人 各駐車場の利用率 ： 75%以上に平準化	待ち人数：0 人 各駐車場の利用率 ： 75%以上に平準化	◎2-2 2-1	—
	歩行者と共存して、自転車が利用されている	②歩行者交通環境の満足度	< 再 掲 >								
		⑥【補完指標】 商店街の自転車数	市実施の自転車交通量調査結果において、商店街の歩行者量のピーク時（6：30～9：30）に自転車押し歩きを行っている割合。（※市独自調査、R5.12.8 実施）	—	—	R5	押し歩き率 4% （乗車走行 107 台）	押し歩き率 25%	押し歩き率 75%以上	◎1-4 ◎2-3 1-2, 6/2-1	【追加理由】 自転車交通に係る指標により、歩行者と自転車が共存するまちの達成後を補完する。
目標 3 利便性・快適性・分かりやすさを備えた駅・交通基盤への改良	便利・快適に公共交通等が利用できる	⑦自駅乗降客数	歩行者交通量調査（始発～終電）結果における駅乗降客数（※乗換客数を含まない）（人）（※市独自調査）	H29	42,617 人	R5	20.5%の減少 （33,901 人）	3.5%以上の増加 （約 35,000 人）	10%以上の増加 （約 37,300 人）	◎3-1 1-6/3-2	【修正理由】 新型コロナウイルス感染症により大幅に乗降客数が減少したため、基準値を令和 5 年の調査結果に見直す。
		⑧適合していないスロープの箇所数	「府中市福祉のまちづくり条例」に定める整備基準のスロープ勾配限度を満たさないスロープ箇所数（か所）（※市資料）	H29	2 か所	R5	2 か所	2 か所	0 か所		